

金沢港クルーズターミナル 中期経営目標

(実施期間 令和8年度～令和12年度)

令和8年3月 策定

1 施設の設置目的

クルーズ船の乗客の利便性向上を図るとともに、金沢港周辺の賑わいの創出を目的としています。

2 施設の果たすべき役割

金沢港クルーズターミナルは、クルーズ船の乗客を迎える拠点としての機能を備え、クルーズ船の寄港しない期間にはイベント等を開催し、金沢港周辺の賑わい創出に寄与することをその役割としています。

3 事業内容

(1) 自主事業(指定管理者の企画運営によるイベント等)

施設を活用した各種イベント等を実施しています。

(2) 貸館事業

会議室、セミナールーム、展望デッキ、C I Qエリア等の貸館を行っています。

(3) 港の学習の場運営業務

まなび体験ルームでの操船シミュレーター等の体験を行っています。

(4) クルーズ船の寄港が見込まれない期間における CIQ エリア・待合エリアの運営業務

観光案内コーナー等で各種情報提供や遊具を配置した子どもが遊べる空間としての運営と周知を行っています。

(5) ターミナル各施設の貸館の利用促進を通じた賑わい創出業務

ホームページ、SNS 等で広報活動を行い、イベント等の誘致を行っています。

4 現状と課題

(1) 管理運営体制について

- ・金沢港クルーズターミナルでは、民間ノウハウを活用し、効率的・効果的に施設管理を行うため、指定管理者制度を開館時（令和2年度）から導入しています。
- ・施設における展示及び催事の企画及び運営、利用促進、施設・設備及び備品の維持管理及び修繕などの業務を指定管理者が行っており、当中期経営目標の実施期間である令和8年度から令和12年度までは、「KCSコンソーシアム」を指定管理者として指定しています。
- ・指定管理者による適切な管理運営を行うため、県と指定管理者間での連絡を密に行い、管理業務に関する情報共有に努めています。

(2) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上について

- ・指定管理者の企画運営により、各種イベントを積極的に実施することで、開館以来多くの方々にご来館いただいておりますが、さらなる賑わい創出につなげるため、創意工夫を凝らしていく必要があります。
- ・イベント等については、施設利用者の安全の確保に最大限配慮した上での開催とする必要があります。
- ・広報活動として、1階の観光案内でのパンフレット掲示やイベント情報の掲載、ホームページ・SNSの活用によるイベント情報や周辺施設情報などの発信を行うなど、積極的な情報発信を行っていますが、より多くの方々にご来館いただけるよう、今後とも情報発信の充実を図り、認知度の向上に努める必要があります。

(3) 施設運営の効率化について

- ・施設の維持管理については、安全・安心を第一に、施設利用者が快適に過ごせる環境を提供しているほか、照明や空調の効率的な管理による省エネルギーや節電への取り組みを実施しています。

5 中期経営目標

(1) 中期経営目標

- ① 利用者数を5年間で740,000人にします。
- ② 利用者アンケートによる満足度は引き続き95%以上を維持します。

(2) 測定指標と目標値

測定指標		基準値 (R4~R6 平均)	中間目標値 (R10)	最終目標値 (R12)
①利用者数		627,230人	690,000人	740,000人
②利用者 アンケート による満足度	利用者 サービス	97.6%	95%以上	95%以上
	施設の維 持・管理	97.1%	95%以上	95%以上

6 指定管理者が設定した目標達成に向けた具体的な取組内容

(1) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取り組み

- ・クルーズ船寄港時の乗船客へのおもてなしや、見学者への賑わい創出はもちろん、展望デッキや、待合エリア、セミナールームを中心としたターミナルの素晴らしさを「知る」「学ぶ」「楽しむ」の場の提供。さらに周辺施設との連携による「みなとオアシス金沢港」の役割を活かした施策を行い、「施設イメージの拡大」を目指し県民の交流に繋がります。
- ・クルーズ船が寄港しない冬場のシーズンにおいては、C I Qエリアなどを使用し、クルーズターミナルが行うべき大型集客イベントの実施や、民間企業・メディアとのタイアップ企画など大きな賑わいにつながる施策を実施します。
- ・地域連携による金沢港周辺の賑わい創出に向け、港周辺地域の情報・文化を発信しながら、地域住民も利用できる環境作りを行い、様々なイベントを通じて家族や友人で訪れる憩いの空間・場所として、みなとエリアの活性化と賑わいを提供します。

(2) 施設運営の効率化に向けた取り組み

- ・お客様に快適かつ安全な空間を提供するため、高い意識での目視や点検による「安全・安心な維持管理」、日常的な予防清掃や温度等の適切な管理による「衛生的環境に配慮した維持管理」、建物や設備の特徴を十分に理解した「予防保全・長寿命化を意識した維持管理」を軸として、最適な維持管理をしていきます。

参考資料(施設の利用状況など)

(1) 利用者数の状況 (単位:人)

項目	R4	R5	R6
利用者数	635,626	621,266	624,797

(2) 利用者アンケート指標(利用者サービス、施設の維持管理)

(ア)利用者サービス (単位:%)

項目	R4	R5	R6
良い	70.4	72.3	75.0
概ね良い	25.9	26.9	22.4
計	96.3	99.2	97.4
やや悪い	3.7	0.8	1.3
悪い	0.0	0.0	1.3

(イ)施設の維持管理 (単位:%)

項目	R4	R5	R6
良い	86.3	79.2	88.6
概ね良い	12.1	15.0	10.1
計	98.4	94.2	98.7
やや悪い	1.6	5.8	1.3
悪い	0.0	0.0	0.0

(3) 使用許可等の状況 (単位:件)

項目	R4	R5	R6
許可数	1,052	817	1,003

(4) 使用料の収入実績 (単位:千円)

項目	R4	R5	R6
使用料収入	10,049	8,658	11,944